

6月は環境月間【第4弾】

2015年6月18日

新しい
環境配慮型
パッケージ
が誕生！

酒類紙パックを「アルミ不使用」に変更 牛乳パック同様のリサイクルが可能に！ ～ CO₂ 排出量も約 12%削減～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長<COO>：村田 紀敏）は、新たな環境配慮型商品開発の取り組みとして、全国のセブン-イレブンやイトーヨーカドー等、セブン&アイ各店舗で販売している紙パック式の酒類各種（セブンプレミアム）パッケージの仕様を、従来のアルミパックからノンアルミパックに7月中旬より順次変更してまいります。

これにより、酒類紙パックのほぼ全てのオリジナル商品については、牛乳パックと同様に紙パックとしてリサイクルが可能となるほか、原材料調達や製造工程における1本当たりのCO₂排出量を、従来のアルミパックと比較して約12%削減できる等、環境に優しい紙パックとなります。

また、アルミを使用しないパッケージへ変更することで、「紙パック」マークが表示できるようになり、牛乳パックと同様にセブン&アイの各グループ店頭でも回収可能な容器となります。さらに、このノンアルミパックは、お酒用の紙パックとして開発されたもの（透明ハイバリアフィルム）で、アルミパック同様のバリア性を保持でき、長期保存が可能な容器です。

なお、この取り組みによるCO₂削減効果としては、年間で170トンを見込んでおり、これは杉の木約12,000本分のCO₂吸収量に相当します。

弊社では、これまで取り組んできた間伐材やリサイクルペットを活用した環境配慮型のパッケージ商品、焼却時にCO₂を吸収するラベルを使用した商品に加え、今回のノンアルミパック商品等、商品を通じた環境への取り組みを今後もより一層強化、拡充してまいります。

紙製容器包装



飲料用紙パック
(アルミ不使用)



パッケージに記載するマークも変わります。

【紙製容器包装の識別マーク（「紙マーク」）から
飲料・酒類用紙パック（アルミ不使用）の
「紙パックマーク」へ変更】

日本酒や焼酎等、紙パック酒類
(セブンプレミアム)の一例



以上